

1. 群馬県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	400,302,913	
	内訳	うち、国費相当額	200,151,456
		うち、地方負担相当額	200,151,457
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	2,256,846	
③	その他収入		
④	負担附寄附金等		
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	2,256,846	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	400,302,913	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	200,151,456
		うち、地方負担相当額	200,151,457
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		400,302,913	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		410,731,000	
⑩	保有割合		0.975	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	環境学習	5,009,015	2,752,169	2,256,846		11%	4,564,000	46,821,000
2	生ごみ減量化取組強化	0	0	0		0%	900,000	8,100,000
3	尾瀬学校 (芳ヶ平湿地群環境学習を含む)	72,254,565	72,254,565	0		6%	39,500,000	355,810,000
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		77,263,580	75,006,734	2,256,846			44,964,000	410,731,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	2018年度から2027年度までの環境学習参加者を189,700人にする。	
成果実績	14,562	
目標値	189,700	
達成度	8%	

平成30年度 事業報告書

事業名	環境学習	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成14年度
担当部署	森林環境部 環境政策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>

感受性豊かな小中学生を中心とした「こども」に対し、教材の提供や実験等を通じた体験型の環境学習を行うとともに、地域に密着した環境学習の機会を提供し、身の回りの環境に関する問題意識を意識づけることにより、自ら環境問題を考え、行動することのできる人材を育成する。

<目標>

動く環境教室の受講者：年間5,000人以上、10年間で50,000人以上

2. 概要

- ・動く環境教室（エコムーブ号）や、こどもエコクラブ（群馬県事務局事業）の実施により、小中学生を中心としたこども達に体験的な環境学習の機会を提供する。
- ・隔年で、県内の小学校に環境学習の副読本として「こども環境白書」を配布する。
- ・地域環境学習事業の実施により、県民が、環境との関わりについて学び、考え、行動するための機会を提供する。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律

4. 実施内容等

- 1 動く環境教室（エコムーブ号）
 - ・小中学校からの要望に応じ、実験機材等を搭載した「エコムーブ号」を派遣。
 - ・ボランティアの「環境学習サポーター」により、2校時を使い、地球温暖化、大気、水等の環境問題について、実験を中心とした体験的な環境学習を実施。
 - ・教材として使用する環境学習資料の編集印刷、及び実験に必要な機材を購入。
- 2 こどもエコクラブ群馬県事務局事業
 - ・毎年8月に自然観察を中心とした「おもしろ体験してみ隊」を実施。
 - ・毎年1月に県内のエコクラブの活動を発表する交流会を開催。
 - ・年間の活動をまとめた活動事例集を発行。
- 3 地域環境学習事業
 - ・環境団体等から提案された企画の中から10企画を選定し、身近な地域における環境イベント等の実施を委託。

平成30年度 事業報告書

事業名	生ごみ減量化取組強化	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成31年度
担当部署	環境森林部廃棄物・リサイクル課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

<p><目的> 県内で排出されるごみの中で大きな割合を占める「生ごみ」の減量に向け、県民への広報啓発活動を強化し、生ごみ減量を促進する。</p> <p><目標> 連携する団体が行う学習会等の参加者数：年間600人以上、9年間で5,400人以上</p>

2. 概要

<p>日々の生活に身近な「生ごみ」の減量のため、生活に密着した活動を行っている団体（生活協同組合コープぐんま）に業務委託し、団体の組合員の中から選任された推進員が、学習会の開催や地域イベントでの広報啓発活動等を実施することにより、県が推進する「3キリ運動」、「30・10運動」をはじめとした、県民の生ごみ削減に向けた自発的な活動を促す。</p>
--

3. 根拠法令等

<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の6 都道府県廃棄物処理計画の達成の推進</p>
--

4. 実施内容等

<p>1 各種普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗利用者や宅配利用者に対する啓発チラシ等の作成・配布 ・コープぐんま広報誌（毎月12万部発行）への啓発記事の掲載 ・コープぐんま組合員から普及啓発活動を行う推進員選任 ・地域イベント（夏祭り、環境フェア等）の場で啓発活動実施 ・親子で参加できる交流の場（子育てひろば等）で食べきりに関する学習会の開催 ・食育に関する学習会や試食会の参加者への啓発チラシ等の作成・配布 <p>2 組合員による調査研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合員活動の場を活用した「3キリ運動」の実施調査 ・食材の使いきり、食べきりを目的としたレシピの開発、公開
--

平成30年度 事業報告書

事業名	尾瀬学校（芳ヶ平湿地群環境学習を含む）	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	森林環境部 自然環境課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>

群馬の子供たちが小中学校在学中に一度は尾瀬等を訪れ、質の高い自然体験をすることにより自然保護の意識を醸成するとともに、郷土を愛する心を育む

<目標>

尾瀬学校等について、2027年度までに参加人数17,000人にする。

2. 概要

小中学校等（群馬県内に設置された小学校（特別支援学校の小学部を含む。）及び中学校（中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）をいう。以下同じ。）が尾瀬等において少人数のグループで一定の要件を有するガイド（以下「ガイド」という。）を伴った環境学習を実施する場合、その経費の一部に対し補助金を交付する。

3. 根拠法令等

4. 実施内容等

県内の小中学校が尾瀬等においてガイドを伴った環境学習を実施する場合、学校の設置者（市町村・学校法人）に対しガイド料及びバス代等を補助する。

補助額は、ガイド料はガイド1名あたり20,000円を上限とし、バス代は原則1日分の借上げ料実費（ガソリン代、高速代、駐車料金含む）を補助するが、児童生徒の健康を配慮して宿泊で実施する場合は2日分実費を補助する。また、尾瀬内の山小屋に宿泊する場合は、ガイドの宿泊料等の経費を補助対象とする。

事業の実施にあたっては、県教育委員会で作成した学習プログラムを参考に、学校でガイドによる事前学習を行い、当日は児童生徒約8人に対し一人のガイドを配置し、きめ細やかな解説を行う。学習プログラムでは事後学習にも触れ、教育の一環として学習効果が高まるよう配慮している。